

## 土木鋼構造診断士 更新に伴う調査報告書の作成

更新・広報小委員会  
山口 隆司 本間 宏二

### 調査報告書の内容

- 原則次の(1)の業務経験を提出下さい。やむを得ない場合に限り(2)または(3)を選択できます。
  - いずれもA4版用紙2頁(40字×40行/頁)に図表、写真をレイアウトしてまとめて下さい。
- (1) 業務経験の記述(原則として資格期間中の経験とする)
- (2) 調査、診断等の報告の記述: 周辺にある土木鋼構造物の目視調査等の調査報告とする。
- (3) レポートの記述: レポートは次の2題とも提出する。  
1 課題1枚(40字×40行)×2課題

### (3) レポートの記述

|     |   |
|-----|---|
| 課題1 | 既設鋼構造物の補修・補強において、変動荷重を受ける条件下で現場溶接を採用する場合、その適用条件と留意点について述べよ。                         |
| 課題2 | 大規模な地震等により広域的に多数の土木鋼構造に被害を生じた場合、その復旧について応急対策、本復旧に向けた優先順位や復旧手順など、計画策定に関してあなたの意見を述べよ。 |

課題1および2の2題とも提出する。  
1 課題1枚(40字×40行)×2課題

### 調査報告書の留意事項

- ① 調査報告書には「土木鋼構造診断士」として相応しいと考えられる業務経験を記述することを原則とする。  
  
なお、土木鋼構造診断士として適当な業務に携る機会が得られなかった資格者は、上記(2)調査、診断等の報告または(3)レポートの記述でもよい。
- ② 報告する業務経験が執筆者個人で行なった業務か、グループで行なった業務かを明記する。グループの場合には、できるだけ執筆者が中心となって行なった業務について記述する。
- ③ 写真、図を利用して、できるだけわかり易く記述する。

### 調査報告書の扱い・表彰

#### 調査報告書の取り扱い

- 調査報告書は、原則非公開とし、調査報告の評価以外の目的には使用しません。

#### 優秀調査報告書

- (1)の業務経験報告の中から「優秀調査報告書」を選出し、ご本人の承諾を得て、平成24年度の「更新講習会」での報告並びに協会ホームページへの掲載を予定しています。

また、承諾のあった優秀調査報告書には「賞状」を授与します。

### 調査報告書の体裁・書式

#### 体裁

原稿はワードプロセッサ等で作成したA4版2ページ(40字×40行/頁)とし、図、表、写真が適切にレイアウトされたPDFとする。

#### 書式

原稿の書式は協会のホームページでお知らせする書式に従い、内容をわかりやすくまとめる。  
右上段: 登録番号 SIDE-00000  
中央にタイトル名

1. はじめに:
2. 本文: 図、表の表示は、図-1タイトル/表-1タイトルと表示し、本文の近いところに配置する。
3. まとめ:

## 調査報告書の体裁・書式(続き)

書式等の情報に関して

日本鋼構造協会のホームページ (<http://www.jssc.or.jp>)

⇒「土木鋼構造診断士・補」⇒「更新」⇒下にスクロール  
⇒「土木鋼構造診断士の方の更新⇒(2)調査報告書の提出

8月末までに公開(予定)

## 提出方法・提出先・期限

下記、いずれかの方法で提出のこと

- **メールによる提出**：件名を「診断士更新資料提出」として下さい。  
また、調査報告書をPDFにして下記のアドレスに送る。  
但し、各自で事務局宛にPDF原稿が届いているかを確認する。  
mail: [shindan\\_koshin@jssc.or.jp](mailto:shindan_koshin@jssc.or.jp)  
PDFファイル名の付け方は下記とします。  
**受贈地区一更新受贈番号**  
「東京」または「大阪」-0000 ⇒例えば：東京-0001 (PDF)
- **郵送による提出**：紙焼きした「調査報告書」1通を下記に郵送する。  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル9F  
社団法人日本鋼構造協会 土木鋼構造診断士特別委員会行

提出期限

平成23年10月28日(金) 必着

## 合否の通知

合否の通知は、**平成24年2月上旬**ごろに各自宛て(勤務先)に郵送致します。

詳細は、社団法人日本鋼構造協会のホームページにてご確認ください。

その他、ご不明な点は、同協会事務局までお問い合わせください。